



インストール ガイド



**work
flow
for
every
one**

NINTEX

www.nintex.com support@nintex.com

目次

システム必要条件.....	3
1.0 Nintex Forms 2010 のインストール.....	4
.net 4.0 のインストール (任意).....	4
1.1 インストーラーの実行.....	4
1.2 ソリューションパッケージの展開の確認.....	4
1.3 ライセンスのインポート.....	5
2.0 データベース構成.....	5
2.1 データベースの構成.....	5
3.0 Web アプリケーションのアクティブ化.....	5
3.1 Web アプリケーションでの Nintex Forms のアクティブ化.....	5
4.0 Nintex Live.....	7
4.1 Nintex Live への接続.....	7
4.2 Nintex Live Forms の構成.....	7
4.3 Mobile アクセス用 Nintex Live リレーサービス.....	8
4.4 Nintex Live リレーサービス ユーザー再割当 (任意).....	8
5.0 機能のアクティブ化.....	9
5.1 サイト コレクションのアクティブ化.....	9
付録 A	10
Nintex Live リレーサービスとは.....	10
付録 B	10
インストールのトラブルシューティング.....	10
付録 C	15
Nintex Live 向けファイアウォール構成.....	15
Nintex Live 向けプロキシ サーバー構成 (任意).....	15

システム必要条件

オペレーティング システム

Nintex Forms 2010 は Microsoft Windows Server 2008 または 2008 R2 にインストールする必要があります。

ブラウザ クライアント

Microsoft Internet Explorer 8 以降のバージョンを推奨します。

ソフトウェア

Nintex Forms 2010 では、次のソフトウェアがインストールされ、正しく構成されている必要があります。

- SQL Server 2005 SP3 または SQL Server 2008
- Nintex Workflow 2010 v2.3.5.0 以降 (Nintex Forms を Nintex Workflow 2010 と併用の場合)
- Microsoft SharePoint Foundation 2010またはMicrosoft SharePoint Server 2010

Nintex Live にフォームを発行する場合の外部または匿名ユーザーに関するインターネットサイト (FIS) 向け SharePoint Server 2010 の詳細については、ライセンス情報をご覧ください。

任意

Nintex Mobile 統合用Nintex Live リレーサービスをホストする Web フロント エンド サーバーにインストール済みの .Net 4.0(詳細は付録 Aをご覧ください。)

1.0 Nintex Forms 2010 のインストール

.net 4.0 のインストール (任意)

Nintex Live リレーサービスをホストする Web フロント エンド サーバーに .net 4.0 をインストールしてください。これは Nintex Live の統合機能を含む Nintex Mobile との使用にのみ適用されます (詳細は付録 Aをご覧ください)。

1.1 インストーラーの実行

1. ソリューションおよび機能を展開するのに十分な特権を持つ SharePoint 管理者としてサーバーにログインします。インストーラー ファイル (exe) をダブルクリックして [Next] (次へ) をクリックします。
2. 使用許諾契約書に目を通します。インストールを続けるには、[I Agree] (同意します) を選択する必要があります。[Next] (次へ) をクリックします。
3. SharePoint に今すぐソリューションを追加するか (推奨)、後で SharePoint Power Shell を使用してインストールするか (詳細設定) を選択します。[Next] (次へ) をクリックします。
4. Nintex Live をインストールするかどうかを選択します。これにより Nintex Live Framework と、Nintex Live への接続に必要な証明書がインストールされます。

注 : Nintex Live の使用方法については、<http://www.nintex.com/licensing> の Nintex ライセンス情報をご覧ください。また、Nintex Live の構成方法についての詳細は [セクション 4.0](#) をお読みください。

5. 続行する準備ができたというメッセージが表示されます。[Next] (次へ) をクリックします。
6. ステップ3で「ソリューションの追加」を選択すると、インストールの手順がメッセージウィンドウに表示されます。
7. 少し経つと [Installation Complete] (インストール完了) メッセージが表示されます。[Close] (閉じる) ボタンをクリックします。SharePoint Central Administration がバックグラウンドで読み込まれているはずです。

注 : Nintex Live と Nintex Forms をマルチサーバー ファームにインストールしている場合、インストール処理中に [RPC サーバーを使用できません] というエラーメッセージが表示される場合があります。トラブルシューティングについては、付録 B を参照してください。

1.2 ソリューションパッケージの展開の確認

1. [サーバーの全体管理] ページに移動して [システム設定] をクリックします。

2. 「nintexforms2010.wsp」と「Nintexforms2010Core.wsp」が展開されているのを確認します。

注：状態が [エラー] の場合は、続行する前に付録 B のトラブルシューティング手順を参照してください。

1.3 ライセンスのインポート

本製品の全機能をご使用になりたい場合は、Nintex 発行の Nintex Forms 2010 ライセンスファイルが必要です。このライセンスは、完全版製品ライセンスでも評価版ライセンスでも結構です。ライセンスファイルは SharePoint の [サーバーの全体管理] にインポートする必要があります。

1. [サーバーの全体管理] ページに移動して [Nintex Forms の管理] を選択します。 [ライセンス] をクリックします。
2. Nintex [ライセンス] ページの [インポート] ボタンをクリックします。
3. [参照] ボタンをクリックしてライセンスファイルを見つけます。ファイルが見つかったら [インポート] ボタンをクリックします。
4. [ライセンス] 情報が表示されます。 [OK] をクリックします。

これで Nintex Forms 2010 のデータベース構成に進むことができます。

2.0 データベース構成

2.1 データベースの構成

1. [サーバーの全体管理] ページに移動して [Nintex Forms の管理] を選択します。 [データベースの管理] をクリックします。
2. このステップにより、Nintex Forms の構成とアプリケーション設定を保存するデータベースが作成されます。必要に応じて設定を編集するか、 [OK] をクリックして既定の設定をそのまま使用します。

3.0 Web アプリケーションのアクティブ化

3.1 Web アプリケーションでの Nintex Forms のアクティブ化

1. [サーバーの全体管理] ページに移動して [アプリケーション構成の管理] をクリックします。
2. [Web アプリケーション] セクションの [Web アプリケーションの管理] をクリックします。

3. Nintex Forms 2010 の機能をアクティブ化する Web アプリケーションを選択します。
(例 : SharePoint - 80)
4. [Web アプリケーション] リボン上にある [機能の管理] ボタンをクリックします。
5. [Nintex Forms 2010] セクションの [アクティブ化] ボタンをクリックします。
6. 少し待つとページが更新され、ステータスが [アクティブ] になります。[OK] をクリックします。

4.0 Nintex Live

Nintex Live Forms 機能を使用すると、サードパーティの認証プロバイダによる匿名または安全なアクセスにより、フォーム デザイナが指定したフォームを Nintex Live を通じてインターネット上のユーザーが使用できるようになります。

注：Nintex Live フレームワークと Nintex Live への接続を有効化するための証明書を事前にインストールしておく必要があります。上記セクション 1.1 の手順 5 で「Nintex Live のインストール」を行わなかった場合は、「nintexlivecore.wsp」を手動でインストール・展開し、「証明書」フォルダから全ての証明書をインポートしてください。「nintexlivecore.wsp」と「証明書」フォルダは、Nintex Forms 2010 インストール フォルダに含まれています。

重要：SharePoint の [サーバーの全体管理] をホストしないコンピューターに Nintex Forms 2010 をインストールした場合、Nintex Live の使用には以下の追加ステップが必要となります。SharePoint の [サーバーの全体管理] をホストするサーバーにログオンし、SharePoint PowerShell コマンド プロンプトを開いて次のコマンドを実行してください：

```
install-liveservice
```

これにより Nintex Live の構成の準備が整います。

4.1 Nintex Live への接続

Nintex Live フレームワークは、Nintex Live との通信にインターネット接続を必要とします。

1. [サーバーの全体管理] ページに移動して [Nintex Live 管理] を選択します。
[接続設定] をクリックします。
2. [Nintex Live] セクションの [テスト接続] をクリックします。
3. Nintex Live への接続が確立可能な場合は、[接続成功] というメッセージが [テスト接続] ボタンの下に表示されます。

注：お使いのネットワークでインターネット接続にプロキシサーバーが必要な場合は、[プロキシサーバー] セクションにサーバーの詳細情報を入力してください。これらの設定は Nintex Live フレームワークに特定のものであり、インターネット接続が許可される唯一のアプリケーションとなります。

4.2 Nintex Live Forms の構成

1. [サーバーの全体管理] ページに移動して [Nintex Forms の管理] を選択します。
[Live Forms 設定] をクリックします。
2. [Nintex Live Forms を有効にする] のセクションで、[有効化] ボタンをクリックします。

3. インターネット上の匿名ユーザーによる Live Forms 送信を許可する場合は、[匿名フォーム送信を許可する] セクションの [はい] を選択します。警告ダイアログで [OK] をクリックします。

注：匿名のフォーム送信を許可するには、Microsoft サーバーのインターネット ライセンスが必要になることがあります。

4.3 Mobile アクセス用 Nintex Live リレーサービス

1. [サーバーの全体管理] ページに移動して [アプリケーション構成の管理] をクリックします。[サーバーのサービスの管理] をクリックします。
2. [Nintex Forms 互換性リレーサービス] を見つけ、[開始] リンクをクリックします。
3. [Nintex Live リレーサービス] を見つけ、「開始」リンクをクリックします。
4. [Nintex Forms 管理]、[Live Mobileアクセス管理] の順にクリックします。
5. [有効にする] をクリックして、ファームをMobileアクセス用 Nintex Live に登録します。

注：お使いのSharePoint サーバーがファイアウォール保護下にあるか、ネットワークにプロキシサーバー設定がある場合は、付録 C を参照してください。

4.4 Nintex Live リレーサービス ユーザー再割当 (任意)

Nintex Live バージョン1.1.2以降では、Nintex Live リレーサービスと Nintex Forms 互換性リレーサービスを実行する管理ユーザーアカウントを変更することができます。

1. [サーバーの全体管理] ページに移動して [セキュリティ] をクリックします。[サービス アカウントの構成] をクリックします。
2. 最初のドロップダウンメニューで [Windowsサービス-Nintex Live リレーサービス] または [Windowsサービス-Nintex Forms 互換性リレーサービス] を選択します。
3. [このコンポーネントのアカウントを選択] ドロップダウンメニューにあるユーザーを適宜選択し、[OK] をクリックします。

注：このサービスを実行する管理ユーザーは、Nintex Forms と Nintex Workflow データベースへのアクセス権限と、Nintex Live サービスが使用することのある SharePoint リストと Web アプリケーションへのアクセス権限があるのを確認してください。また、管理ユーザーはファームのファーム管理グループに所属していなければなりません。

5.0 機能のアクティブ化

5.1 サイト コレクションのアクティブ化

1. Nintex Forms 2010 機能をアクティブ化するには、最上位サイト レベルのホームページに移動し、[サイト アクション] > [サイト設定] の順にクリックします。
2. [サイト コレクションの管理] で [サイト コレクションの機能] をクリックします。
3. [Nintex Forms 2010 必須機能] セクションの [アクティブ化] ボタンをクリックします。
4. 少し待つとページが更新され、ステータスが [アクティブ] になります。
5. SharePoint リスト フォームのデザインに Nintex Forms 2010 を使用する場合は、[SharePoint List Forms 向けNintex Forms 2010] セクションの [アクティブ化] ボタンをクリックします。
6. フォーム デザイナが Nintex Live にフォームを発行できるようにするには、[Nintex Live Forms] セクションの [アクティブ化] ボタンをクリックします。
7. このサイト コレクション内のサイトにある Nintex Workflow 2010 で、Nintex Forms 2010 を使用して開始フォームやタスク フォームをデザインするには、[Nintex Workflow向けNintex Forms 2010] セクションの [アクティブ化] ボタンをクリックします。

注：要件にあるソフトウェアが検出されない場合はエラーメッセージが表示されます。全てのソフトウェア要件がインストール・構成済みであることを確認してください。

これで Nintex Forms 2010 を使用する準備ができました。

付録 A

Nintex Live リレーサービスとは

Nintex Mobile 製品をお使いで、Nintex Liveによる通信を必要とする場合は、Nintex Forms バージョン1.3以降に同梱されている、Nintex Mobile および Nintex Live 統合用追加コンポーネントを使用してください。Nintex Live リレーサービスおよび Nintex Forms 互換性リレーサービスという名称のこれらコンポーネントは、.net 4.0 をインストール済みのサーバーで実行する必要があります。

通常、Nintex Forms 2010 インストーラーは、お使いのファーム内で.net 4.0 をインストール済みのすべてのサーバーにこれらのコンポーネントを自動的に展開します。

付録 B

インストールのトラブルシューティング

インストールが完了しても [RPC サーバーを使用できません] というエラーメッセージが表示される

ファイアウォールまたはセキュリティ上の制約の関係でファーム内のサーバーが使用できない場合、Nintex Forms 2010 のインストール中に「RPCサーバーを使用できません」というエラーメッセージが表示されることがあります。

この場合、1つまたは複数の Nintex SharePoint ソリューションや Nintex Live リレーサービス・Nintex Forms 互換性リレーサービスを展開できなくなることがあります。

この問題を解決するには、パート A の手順を実行してください。状況によりさらにパート B の実行も必要となることがあります。

必要条件:

- スクリプトを実行するユーザーは、SharePoint および Windows に対する適切な権限が必要です。
- ユーザーは SharePoint サーバーの全体管理にアクセスできる必要があります。
- SharePoint 管理シェルでスクリプトを実行します。
- 適切な Nintex インストール実行可能ファイルを使用して、Nintex Live コアソリューションをインストールしておく必要があります。

パート A—すべてのソリューションが展開・構成済みであるかの確認

Nintex Forms 2010 インストーラーの実行中にエラーが起こった場合は、ファーム内で以下の手順を1回実行してください。

1. ファーム内の各サーバーに存在し、開始されている Nintex Live リレーサービスと Nintex Forms 互換性リレーサービスを停止します。
 - a. [サーバーの全体管理] に移動します。
 - b. [システム設定] のセクションで、[サーバーのサービスの管理] をクリックします。
 - c. [Nintex Live リレーサービス] を見つけ、「停止」リンクをクリックします。
 - d. [Nintex Forms 互換性リレーサービス] を見つけ、[停止] リンクをクリックします。
 - e. [サーバーの全体管理] の [サーバーのサービスの管理] ページ右上にあるサーバーのドロップダウンリストをクリックし、ファーム内のすべてのサーバーについて上記ステップの c とdを繰り返します。

注：サービスのリストにNintex Live リレーサービスと Nintex Forms 互換性リレーサービスが見つからない場合は、Windows 管理ツールに移動して [サービス] をクリックします。Windows サービス (Nintex Live リレーサービス・Nintex Forms 互換性リレーサービス) が存在していることを再確認し、開始されている場合は停止します。

2. IISReset を実行し、ファーム内の各サーバーで [SharePoint タイマーサービス] を再起動します。
3. 初回展開時にエラーが発生したソリューションがあれば、Nintex ソリューションを再展開します。
 - a. SharePoint の [サーバーの全体管理] を開きます。
 - b. [サービス] カテゴリに移動し、[ファーム ソリューションの管理] をクリックします。
 - c. Nintex Forms インストーラーを実行すると、以下の3つのソリューションがインストールされるはずです。
 - i. NintexForms2010Core.wsp
 - ii. NintexForms2010.wsp
 - iii. NintexLiveCore.wsp
 - d. 上記ソリューションのいずれかが「エラー」状態になっている場合は、そのソリューションをクリックして再展開します。dll/ファイルロックの問題がある場合は、[こちらのセクション](#)を参照してください。
4. 初回展開で NintexForms2010.wsp または NintexForms2010Core.wsp ソリューションの展開に失敗した場合は、[サーバーの全体管理] でSharePoint 管理シェルの開き、次のスクリプトを実行します。

注：Windows PowerShell でこのスクリプトを実行することもできます。その場合は、次の行をスクリプトに追加する必要があります。

```
Add-PSSnapin 'Microsoft.SharePoint.PowerShell'
```

```
Upgrade-NFService
```

5. 初回展開で Nintex Live ソリューションの展開に失敗したら、[サーバーの全体管理] でSharePoint 管理シェルの開いて次のスクリプトを実行します。

注：Windows PowerShell でこのスクリプトを実行することもできます。その場合は、次の行をスクリプトに追加する必要があります。

```
Add-PSSnapin 'Microsoft.SharePoint.PowerShell'
```

```
Install-LiveService
```

パート B—Nintex Mobile および Nintex Live 統合のためのサービスの展開（任意）

以下の手順は、Nintex Mobile 上の要求を Nintex Live でリレーする必要がある場合のみ実行してください。

以下の手順は、アプリケーション サーバーなど、Live リレーサービスのホストに指定しているファーム内の単一のサーバーで実行してください。ただし、Live リレーサービスで負荷分散が必要な場合は、1つまたは複数のサーバーで以下の各ステップを繰り返してください。

1. 必要に応じ、パート A のすべての手順を実行します。
2. サーバーでサービスを開き、サーバーにローカルな Windows サービスを表示します。
 - a. 「Nintex Live リレーサービス」 Windows サービスと「Nintex Forms 互換性リレーサービス」 Windows サービスが存在しない場合は、SharePoint 管理シェルの以下のスクリプトを実行します。

注：Windows PowerShell でこのスクリプトを実行することもできます。その場合は、次の行をスクリプトに追加する必要があります。

```
Add-PSSnapin 'Microsoft.SharePoint.PowerShell'
```

```
$path = [Microsoft.SharePoint.Utilities.SPUtility]::GetVersionedGenericSetupPath("bin¥Nintex
Live¥Nintex.Live.RelayService.exe", 14)
$serviceName = "Nintex Live Relay Service"
New-Service -Name $serviceName -BinaryPathName $path
```

```
$path = [Microsoft.SharePoint.Utilities.SPUtility]::GetVersionedGenericSetupPath("bin¥Nintex
Forms¥Nintex.Live.RelayService.exe", 14)
$serviceName = "Nintex Forms Compatibility Relay Service"
New-Service -Name $serviceName -BinaryPathName $path
```

- b. 上記スクリプトを実行したら、2つのサービスが作成されているか確認します。
3. [サーバーの全体管理] でサービスを開始します。
 - a. [アプリケーション管理]、[サーバーのサービスの管理] の順にクリックします。
 - a. [Nintex Live リレーサービス] を見つけ、「開始」リンクをクリックします。
 - b. [Nintex Forms 互換性リレーサービス] を見つけ、[開始] リンクをクリックします。

注： [Nintex Live リレーサービス] か [Nintex Forms 互換性リレーサービス] が長時間「開始中」ステータスで、「開始」リンクも「停止」リンクも表示されない場合は、次の手順を実行します。

[Nintex Live リレーサービス] が [サーバーの全体管理] で [開始中] ステータスのままになっている

タイマー ジョブがサービスを開始できませんでした。ジョブを削除して、サービスを停止します。

1. ファームの特定のサーバーにあるサービス インスタンスを手動で停止するには、SP パワーシェル コンソールから以下のパワーシェルを実行します。

```
#List all instances of the relay service
$s = Get-SPServiceInstance | where-object { $_.Name -eq "NintexLiveRelayServiceInstance" }
$s
```

2. 次に、以下のコマンドで特定のインスタンスを停止します。

```
Stop-SPServiceInstance -Identity <A specific instance ID>
```

3. 上記コマンドがエラーになる場合は、以下を実行します。

```
Stop-SPServiceInstance :An object of the type Microsoft.SharePoint.Administration.SPServiceInstanceJobDefinition named "job-service-instance-2dc2524e-46b7-43f6-a4b3-15689e014b54" already exists under the parent Microsoft.SharePoint.Administration.SPTimerService named "SPTimerV4".Rename your object or delete theexisting object.
```

削除すべき保留中のタイマー ジョブがあります。この削除には、以下を実行します。

```
$job = Get-SPTimerJob | where { $_.Name -eq "<Job name shown in error message" }
$job.Delete()
```

これで、ステップ2の停止コマンドに戻れます。

4. サーバーのタイマーサービスを再起動します。
5. [サーバーの全体管理] を一旦閉じて再び開き、「 [サーバーのサービスの管理] に移動します。
 - a. サーバーのドロップダウンリストをクリックし、問題のサーバーを選択します。
 - b. [Nintex Live リレーサービス] で [開始] をクリックします。

dll/exeのロックにより NintexForms2010Core.wsp が展開/取消できない

NintexForms2010Core.wsp と共に展開された dll をロックしている処理があり、この処理を終了またはリサイクルしなければなりません。

以下は、[サーバーの全体管理] のソリューション展開ページに表示されるメッセージの例です。

Some of the files failed to copy during deployment of the solution.

Last Operation Details: ntx-tom-1 :Error:The copying of this file failed: bin¥NintexLive¥Nintex.Forms.Mobile.Compatibility.LiveRelay.dll.

The process cannot access the file 'C:¥Program Files¥Common Files¥Microsoft Shared¥Web Server Extensions¥14¥bin¥NintexLive¥Nintex.Forms.Mobile.Compatibility.LiveRelay.dll' because it is being used by another process.

1. ファーム内の各サーバーに存在し、開始されている Nintex Live リレーサービスと Nintex Forms 互換性リレーサービスを停止します。
 - a. [サーバーの全体管理] に移動します。
 - b. [システム設定] のセクションで、[サーバーのサービスの管理] をクリックします。
 - c. [Nintex Live リレーサービス] を見つけ、「停止」リンクをクリックします。
 - d. [Nintex Forms 互換性リレーサービス] を見つけ、[停止] リンクをクリックします。
 - e. [サーバーの全体管理] の [サーバーのサービスの管理] ページ右上にあるサーバーのドロップダウンリストをクリックし、ファーム内のすべてのサーバーについて上記ステップ c と d を繰り返します。

または、サーバーで [Nintex Forms 互換性リレーサービス] と [Nintex Live リレーサービス] Windows サービスを停止します。

2. 展開/取消に失敗した場所として一覧表示されているすべてのサーバーでタイマーサービスを再起動します。
 - a. ロックされているファイル/dll を特定するには、[サーバーの全体管理] で
 - b. [サービス] カテゴリに移動し、[ファーム ソリューションの管理] をクリックします。
 - c. NintexForms2010Core.wsp ソリューションをクリックします。失敗理由と問題が起きたサーバーが一覧表示されます。
3. 展開/取消の失敗が起きた場所として一覧表示されているすべてのサーバーで IIS を再起動します。
4. 展開/取消を再試行します。
 - a. まだ dll ロックにより展開/取消ができない場合は、GAC から GacUtil などのツールを使用して Nintex Forms の dll を強制的に消去します。

Nintex Forms インストーラーは完了したが以下のメッセージが表示される。

```
Failed to activate web application feature.Error:Failed to open a connection to the Nintex Workflow configuration database..Stack trace:    at Nintex.Workflow.Administration.ConfigurationDatabase.OpenConfigDataBase()    at Nintex.Workflow.Administration.Database.ExecuteReader(SqlCommand command, CommandBehavior behavior)    at Nintex.Workflow.Administration.ContentDatabaseCollection..ctor()    at Nintex.Workflow.Administration.ConfigurationDatabase.get_ContentDatabases()    at Nintex.Forms.SharePoint.NintexWorkflowMethods.UpdateNintexWorkflowStoredProcedure()    at Nintex.Forms.SharePoint.NWWrapper.UpdateNintexWorkflowStoredProcedure()    at Nintex.Forms.SharePoint.EventReceivers.WebApplicationFeatureEventReceiver.FeatureActivated(SPFeatureReceiverProperties properties).
```

このエラーは、インストーラーを実行したユーザーが Nintex Workflow データベースへの適切なアクセス権限がない場合に起きます。

1. [サーバーの全体管理] を開き、[アプリケーション構成の管理] から [Web アプリケーションの管理] へ移動します。
2. Web アプリケーションを選択し、[機能の管理] をクリックします。
3. Nintex Forms 機能をアクティブ化します。

付録 C

Nintex Live 向けファイアウォール構成

Nintex LiveによりNintex Mobile の統合機能を利用しており、ファイアウォールを設定している場合、Nintex Live リレーサービスでは以下のポートのアクセスが可能でなければなりません。

- 9351/HTTP
- 80/HTTP
- 443/HTTP

Nintex Live 向けプロキシ サーバー構成 (任意)

お使いの環境でプロキシ サーバーを使用している場合、Nintex Live リレーサービスは以下のエンドポイントと通信します。従って、お使いのプロキシ ソフトウェアに以下のURLを追加し、使用可能にしておく必要が起きる場合があります。

<https://live.nintex.com> および <https://liveservices.nintex.com>
<https://nintexlive.blob.core.windows.net/serviceicon>
<https://nintexrelay.servicebus.windows.net/>